

## 有機農業実践講座～落葉果樹～ 開催にあたって

果樹の有機農業実践講座も8回目を迎えます。そのうち、落葉果樹を対象として4回目の講座を、今回、日本一のリンゴ生産量を誇る青森県の弘前市で開催します。

水稻や野菜に比べて、果樹の有機栽培は難しいとされてきましたが、回を重ねるなかで、問題点や課題が絞られ、解決策や解決の方向が見えてきました。

落葉果樹栽培においても、土づくりを中心とした持続的な栽培方法により味の向上と病害虫の抑制が同時並行的に実現に向かうこと、雑草のコントロールや剪定・摘果などにさまざまな工夫がなされていること、販売を含めた持続的経営が確実になされていることなど、共有すべき情報が集積されつつあります。

本講座では、農業の基本である土壌と微生物と作物の関係を最新の研究成果などを含めたお話しをしていただくため、その道の研究の最前線で活躍中の農研機構・北海道農業研究センター上級研究員であり、プロジェクトリーダーでもある池田成志氏を基調講演にお招きしました。有機農家が当然視している事象の科学的裏付けや最新の研究状況など、実践をさらに後押しする情報を共有できるものと思います。

続く、事例発表、パネルディスカッション では、地元青森県の代表的な生産者に長野県からのパネラーを交え、有機農業だけでなく、高品質果実の生産やモデル的経営も含めた情報交流ができるように企画しました。

さらに、パネルディスカッション では、有機農業や特別栽培などこだわり農産物を全国規模で取り扱う流通組織の担当者をお招きして、現状や課題を発表し合い、質疑応答のなかで問題点を共有し、理解を深めて、今後の発展に寄与できればと期待しています。

なお2020年は、オリンピック・パラリンピック東京大会が開催されます。世界の選手たちに、健康とパワーをもたらす有機農産物を国内産で供給する準備も進んでいます。選手だけでなく前後して押し寄せる来日客などに、味が良くて健康的な国産の有機農産物を食べてもらい、その後の輸出や国内需要の拡大に結び付けようと、これも準備中です。

有機農業やそれに準ずる農業に社会全体の関心が高まりつつある今日、急速に解明されつつある土の中の微生物の生態やはたらき、また実践者の工夫など、大多数の慣行のリンゴ栽培者の皆さんにも理解や興味が高まる講座になるよう努めています。

果樹に関わらず、水稻、野菜の土づくりも基本は同じです。加工や販売・流通の関係者、研究や普及・行政面で最新情報の取得や生産者との交流を望んでいる皆様など、奮ってご参加いただき、さまざまな交流を通して、本講座がすばらしい出会いの場となることを期待しています。

最後に、開催にあたってご尽力いただいた関係者の皆様にこの場を借りてお礼を申し上げます。

平成 29 年 1 月 16 日  
NPO 法人有機農業参入促進協議会  
副代表理事 鶴田 志郎